

厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）

保健師活動の展開推進及び統括保健師の役割遂行力開発

（主任）研究者 井伊 久美子 香川県立保健医療大学 学長

#### 研究要旨

地域保健を担う保健師は、住民の健康課題の解決のため、「地域における保健師の保健活動に関する指針」（以下、「活動指針」とする。）に基づき、保健活動を展開している。活動指針は、平成 25 年 4 月に改訂されたが、この 5 年間で社会情勢や住民の生活実態等は変化しており、活動指針を踏まえながらこうした変化に対応した保健活動を推進していくことが重要である。しかし、活動指針については地方公共団体のほぼすべての保健師が理解しているものの、具体的な活動にどのようにつながっているかは明らかにされていない。

本研究は、活動指針を踏まえた活動の実態を把握し、活動を展開するための促進要因や阻害要因を明らかにし、保健活動の推進策を整理した「保健師活動推進マニュアル（仮称）」または活用事例集を作成することを目的としている。また、平成 25 年 4 月の活動指針で統括保健師の配置の必要性について新規に明記された。統括保健師が期待される役割を担うことが、保健師の保健活動を推進していく上では重要であるが、特に市町村の統括保健師の資質向上のためのプログラムが開発されていない。そのため、その開発を試みる。

本研究は 3 年計画で実施しているが、3 年目である本年は、令和元年度保健師活動調査より明らかになった課題（統括保健師の位置づけと役割、地域ベースの活動に係る取り組み、人材育成・確保、自治体種別・人口規模の差、本庁の役割遂行）について保健師活動推進に係る項目・内容を検討していくために、各自治体のヒアリング調査結果報告書の内容を分類・整理した。その上で、各自治体の共通事項や保健師活動を推進する上で重要な留意点や好事例について検討した。当初「保健師活動推進マニュアル（仮称）案」としていたが、保健師活動の手順を示すものではなく、活動の方向性を示す内容が主であるため、「ガイド」として取りまとめた。また、都道府県の研修担当者、一般市町村の統括的立場にある保健師に対してヒアリングを実施し、令和 2 年度に作成した統括保健師研修プログラム案、教材案、研修プログラムの実施手引き案の修正を行った。当初「ガイドライン」としていたが、ガイドラインは大枠のみを示したものの印象となるため、「手引」とした。

令和 2 年度に引き続き、本年度も研究体制を「保健師活動の展開推進・人材確保育成」と「統括保健師の役割遂行力開発」の 2 班構成としたため、本報告書も 2 部構成としている。

#### 研究分担者

坂本真理子 愛知医科大学看護学部 教授

高嶋伸子 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 教授

鳩野洋子 九州大学大学院医学研究科保健学部門 教授

尾島俊之 浜松医科大学健康社会医学講座 教授

吉岡京子 国立保健医療科学院生涯健康研究部公衆衛生看護研究領域 上席主任研究官

成木弘子 日本赤十字看護大学さいたま看護学部 教授

森永裕美子 岡山県立大学保健福祉学部看護学科大学院保健福祉学研究科看護学専攻 教授

辻よしみ 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 准教授

植原千明 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 助教

研究協力者

藤原啓子 横浜市教育委員会事務局学校教育企画部特別支援教育課 担当課長

鎌田久美子 公益社団法人日本看護協会 常任理事